

村山達也

新型コロナウイルス感染拡大に係る課題 について です。

はじめに日々、コロナ対策でご尽力をいただいている市長をはじめ、全職員、医療関係者各位に敬意と感謝を申し上げます。

質問をさせていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、市民生活全般に多くの問題が出てきております。地域医療崩壊への不安、経済への大打撃、子ども達の学びへの不安など多くの市民の皆様が大なり小なりの不安を抱え日々を送っておられます。そこで、以下の懸念事項についてお考えを伺います。

最初に、命を守る地域医療への課題です。

十日町市中魚沼郡医師会からは４月８日、「妻有地域医療的緊急事態」が宣言されました、この中には「妻有地域は医師も診療所も病院のベッド数も日本一少ない。この地域で新型コロナウイルスが流行すれば、あっという間に医療が崩壊し、救えるはずの命までも失うことになる。」というようにあります。この救えるはずの命を失うような事があっては絶対にいけません。また、常にそうならないように努力していく必要があると考えますので、以下について伺います

①今後の地域医療体制の維持と増強に対するお考えについて

②国と県は昨年秋から公的病院の再編を検討し、松代病院もその対象とされていますが、松代病院に係る県との話合いの現在の状況について
です。

次に、地域経済への支援についてです。

市内でも居酒屋などの飲食業をはじめ宿泊業や観光業、旅客運送業、製造業や小売業など様々な業種の営業が停滞し大打撃を受け、地域経済はまだまだ先行き不安定な状況にありますので、今後のさらなる経済支援、再生対策にいかに取り組まれるお考えか伺います。

三点目は、子ども達の学への不安についてです。

今後も第２波の可能性が指摘されており、自宅待機などが懸念されています。市内でも小中学校の休校が続き、学習時間の減少による学力の低下など様々な不安材料が出てきていますので、以下について伺います。

①学習時間の確保について

②オンライン授業などを含め今後のＩＣＴ教育について です。